

## 滋賀大学 SDGsの取組み

### 1. SDGs講演会「ポートランドのまちづくり～City Repair の活動」

2019年9月2日、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドにあるNPO シティリペアのコアメンバーであるマット・ビボウ氏をお招きして、ポートランドのまちづくり(City Repair)のお話をうかがいました。

NPO シティリペアとは、サステナブルな共生社会を作るために、公共空間をクリエイティブな方法で住民の手に取り戻す活動を行っている団体です。コミュニティのつながりや、コミュニティと自然のつながりを大切に、芸術的でエコロジカルな場所づくりを行っているのが特徴的です。

マット氏のお話は、ポートランドの街がいかにしてアメリカでも屈指の住みやすい街になったかというお話でした。

キーワードになったのが、自然と住民の繋がり、住民と住民の繋がりです。例えば、1960年代のポートランドは近代化・工業化の波の中で、他の多くのアメリカの都市と同じように、高いビルや高速道路に囲まれた街でした。そこでは、住民と自然、住民と住民の繋がりが希薄になってきていました。

そうした中で、住民運動によって、市内中心部にパイオニア・コート・スクエアという市民が集える広場を作ったり、すでに出来ていた高速道路を付け替えて市の中心部を流れるウイラメット川に市民のための公園を作ったりしました。

住宅街でも、交差点に住民が「勝手に」絵を描くことで、自動車の減速を促すだけでなく、その活動を通じて、住民同士の交流を取り戻したりする「ストリートペイント」という活動もポートランドでは盛んです。なぜなら、当初は違法だったこうした活動も、現在では条例化され、一定の要件を満たせば自由にできるようになったからです。

市民参加と一言に言いますが、どのようにすれば住みやすい街づくりができるのかなど、多くを学ぶことのできたSDGs講演会でした。

(国立大学法人滋賀大学経済学部地域連携教育推進室 2019年度活動報告書 PP28)



### 2. SDGs プロジェクト「滋賀大学サステナウィーク」

滋賀大学では、2019年11月25日から29日までの一週間を「滋賀大学サステナウィーク2019」として、サステナビリティに関する講演会やワークショップ、展示などを行いました。

企画は、経済学部の地域連携教育推進室のスタッフ(教員2名、事務補佐員1名)を中心として、6名の学生有志からなる実行委員会によって立案されました。

こうしたイベントは、Sustainability Weekとして、以前より世界各国で開催されています。日本では北海道大学がサステナビリティ・ウィークとして2007年から2017年まで毎年開催してきました。他にも立命館大学でも学生主体の実行委員会形式で2017年よりSustainable Weekを開催しています。

滋賀大学としては初めての開催とはなりましたが、これまでの地域連携教育推進室(および前身の就業力育成支援室)のこれまでの活動やネットワークが縦横に発揮され、少ないスタッフながら多彩なイベントを開催することができました。

学生企画としては、立命館大学 Sustainable Week 実行委員会のメンバーを招いた「SDGs 表現論」、駐日タンザニア臨時大使を招いた講演会、日本教育創造機構の代表を招いた講演会などのほか、脱プラスチックに向けた展示会などがありました。これらの多くは普段から地域連携教育推進室に出入りする学生によるものであり、地域連携教育推進室が培ってきた学生との協働が自然に遺憾なく発揮された形となりました。



一方、自然エネルギーによる地域再生を取り扱った映画「おだやかな革命」の上映会は、地域で自主上映会を企画していた市民有志の方々との共催となりました。また、ネパールの女性たちによるキルトの展示会は、「国際交流の会とよなか」にご協力いただきました。バースセンター（助産施設）の設立を目指す助産師グループの方々もワークショップを開催して下さるなど、こちらも地域連携教育推進室のメンバーが日頃から築いてきた地域との関係から生まれたきたものでした。

実行委員会メンバー教員による企画としては、JICA 関西滋賀県国際協力推進委員、城南信用金庫顧問、羽衣国際大学教授をお招きした講演会のほか、大学における SDGs関連の取組みを紹介したポスター展や大きなテントの中に薪ストーブを設置した「バイオマセント」なども実施しました。このテントは、その中で認知症に関するワークショップが開催されたり、夕方になるとフィンランド式のスチームサウナになったりと、いろいろに活用されました。

教育学部教員によるデザイン展も協賛イベントとして位置づけることが出来ましたが、将来的には、他学部と協力し、より包括的で全学的な取組みにすることが出来れば良いと思います。

(国立大学法人滋賀大学経済学部地域連携教育推進室 2019 年度活動報告書 PP30)



滋賀大学サステナウィーク 2019 パンフレット